

キンダーブック1 3月号

表紙の
絵から

ジャングルでゴリラのお父さんと子どもたちに出会いました。お父さんのたくましい腕にぶら下って遊ぶのは楽しそうですね。1年間いろいろな動物が表紙に登場しました。どの動物が好きだったか、ほかにどんな動物といっしょに遊びたいかなど会話を広げましょう。



いっしょに やろう

ねらい 困っている友だちに声をかけ、みんなで楽しむ場面をとおして、自分たちの成長を感じましょう。



「うさまらくんたちはみーこちゃんが困っていることに気づいたみたいだね。こういうとき、みんなだったらどうする？」と問いかけましょう。

みーこちゃんが困っている理由を友だちに話せたこと、くまたくんがどうしたらいいか考えられたことに注目します。みーこちゃんの表情の変化から、気持ちの変化を想像してもよいですね。



「みんなであうたえて楽しそうだね」と伝え、友だちと協力するとできることがあると気づかせましょう。



ずっと なかよし



ねらい いっしょに遊んだ友だちをたいせつに思う気持ちに共感しましょう。

つかい方のポイント 「年長さんが卒園してしまうことをどう思う？」「小さい友だちが来ることはどう思う？」と問いかけてみましょう。年長さんの卒園を寂しく思う気持ちも、新しい出会いを楽しみにする気持ちも、どちらもたいせつにできるとよいですね。



なにを つかう？



ねらい 食べ物によって食べやすい食具があることに気づかせます。

つかい方のポイント 誌面左側のスプーン、フォーク、お箸の写真を隠して「何をつかって食べるかな？」とクイズにして楽しみましょう。ほかにもいろいろな料理を挙げ、どのように食べるか考えてみましょう。お箸に挑戦するきっかけになるとよいですね。

「キンダーブック1」を 保育にご活用ください！

絵本をつかった 指導計画の文例

コーナー	子どもが経験すること	保育者の配慮	5領域
「いっしょに やろう」	<ul style="list-style-type: none"> クラスや園全体の行事に参加する。 友だちといっしょに行動することを楽しむ。 友だちが困っていたら助けようとする。 困っていることをことばで説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> 行事やその練習の際には、「楽しかった」「できた」という気持ちがさらなる意欲につながるような声かけをする。 とまどっている子に「いっしょにやってみようね」と声をかけ、安心して参加できるようにする。 友だちといっしょに楽しめるように、そばで見守りながら、友だちと関わる場面が増えるようにさりげなく支援する。 「なんて言えいいのかな？」といっしょにことばを考える。 	人間関係 言葉
「なにを つかう？」	<ul style="list-style-type: none"> 食具の種類を知る。 料理によって適した食具が違うことを知る。 どの料理に何をつかうか考える。 実際に食具をつかう。 	<ul style="list-style-type: none"> 「とろっとした物はスプーンだと食べやすいね」などと話し、料理の特徴と食具の関係について考えられるように促す。 食具の実物を用意し、持ったり見比べたりしながら「何を食べやすいと思う？」と問いかける。 実際に試してみて、気づいたことや感想を伝え合い、どの食具がどの料理に適しているか確認する。 	健康 言葉 表現